

菅のモラル

24日深夜、業界の倫理観は「法的に問題なくてもモラルとしてやってはいけない」「後輩に示しがつかないのだから重い処罰を自分に科した」と、一般人になったトップラレントの島田紳助氏は語った。

国会議員の菅直人・前原誠司は、外国人から献金を受け発覚、返してすむ話ではない。

お天道様が見ている

法令と実務に精通しなければならぬ。」
税理士法第1条
「税理士は税務に関する専門家として、独立公正な立場において、申告納税制度の理念にそって、納税者の信頼にこたえ、租税に関する法令に規定された納税義務の適正な実現を図ることを使命とする。」

回りにも法的に問題でなければOKという人が、実に多くおいでます。
税理士の倫理規定
「会員は、法第1条に規定する税理士の使命のもとに、職責を遂行するため、常に教養の保持と品性の陶冶に努め、

独立で公正で納税義務の適正な実現を使命とされ、自分勝手な解釈が許される」と判断すれば、



その前に、我が国は、昔から日本人は誰も見ていない「お天道様が見ている」のが、社会の倫理規範であったはずだ。

我が国は、全てが金に屈し、利害得失の支配に成り下がってしまった。

結局は思考と行動を、教養と品性を世間で問うことになりました。

税理士という利権組織が集団化し「屁理屈」と「やらせ」で社会に組み込まれるのか。そもそもお上の規制撤廃が「新自由主義」の目指すところではなかったか。

事務所便り

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

2011年8月29日(月) NO. 223

地域から明るい未来を作ろう

口先三寸の答弁のいい加減さは、モラル以下、トップの人格問題です。菅夫妻の倫理観は異質です。日本は三流国家に没落が必然である。菅氏のモラルや美学などまったく欠片(かけら)もないと思えない。権力欲だけには実に見事なものです。菅本人は四国お遍路を途中でやめ、仙谷氏と前原氏(民主党きつての親米派・米推薦)らと小沢一郎憎しで組み、マニフェストを裏切る、嘘つき愚弄政権がふさわしい。さらに原発処理問題で今後、多くの国民に苦痛を与え続ける。明らかに国民の多くは、絶対に許せる次元を超えています。結局は「思いつき」政策で国民を愚弄しただけではないか。TVタレントの足下にも及ばない「切れの」悪さは、自民に負けず劣らず、歴史に名を残す愚総が実にふさわしいでしょう。

直感について

直感とは、常に何かに対する反応である。
直感とは、心の奥底で常に働いている。
非言語メッセージなのである。
多くの経験が直感力を高めるのであって、個人にとって今が生まれて以来、最大になっているものである。
言葉で説明できない、何億

年を掛けて霊長類が直感的な本能を磨いたのである。
大人が嗅ぎ取る「うさんくささ」はまさに直感である。
易しいことは、緊張感が薄れ直感力が働かない。適度な緊張感が判断力を養う。
あらゆる場面で「察する」

能力と、「痛み」に関する感覚が鈍感な人は、同情心がわきにくい、焼き尽くすような「怒り」もない。
自己合理化(自己解釈)をしないことが、直感に従う第一歩です。
盆休みの夕方、自転車と車のサンキュウ事故に遭遇。早朝から全ては事故に向かっていった(脳は密かに知覚)と推せられた。